

(基本目標5)市民みんなの協働で、だれもが環境保全に参加するまち

1. 環境教育

1-1 越谷生物多様性子ども調査

平成24年度から始まった越谷市独自の指標生物調査です。この調査では、子どもたちが学校やビオトープ周辺のトンボの生息状況を調べ、活動を通して越谷市の環境の現状について知り、調査結果を元に生きものにとってやさしいまちづくりについて考えます。令和元年度の調査では越谷市内の小学校で、トンボの成虫とヤゴ合わせて27種が確認されました。

各小学校におけるビオトープの整備状況

整備年度	改修年度	学校名	面積(㎡)
平成4	令和元	大袋東小学校	900
平成7	平成28	弥栄小学校	400
	平成28	東越谷小学校	400
平成8	平成28	南越谷小学校	800
平成9	平成29	川柳小学校	250
平成10	平成29	桜井小学校	200
平成11	平成29	西方小学校	300
	平成30	蒲生南小学校	200
平成12	平成30	花田小学校	450
平成13	平成30	大袋北小学校	300
平成15	令和元	千間台小学校	125
	令和元	桜井南小学校	—
平成16	平成27	新方小学校	450
平成19	平成27	城ノ上小学校	615
平成25	平成27	増林小学校	18

※上記に掲載のない小学校についても、コンテナ等を利用した簡易なビオトープが設置されています。

※小学校以外では平方地区に自然観察林が、大吉調節池には野鳥保護ゾーンが設置されています。また、大相模調節池には市民団体が管理を行っているビオトープが整備されています。

※川柳小学校については校舎増築のため、令和元年度でビオトープが廃止されています。

1-2 自然観察会・身近な生物調査

市では越谷市内に生息している生物の観察・調査や自然に親しんでもらうため、自然観察会等を開催しています。また、市民団体が行う観察会にも協力しています。

○大相模調節池生物調査

元荒川及び中川と接続されている大相模調節池に生息する生き物の観察のため、川柳地区コミュニティ推進協議会が主催する水生生物調査に、NPO 法人越谷ふるさとプロジェクト、埼玉東部漁業協同組合、埼玉県水環境課とともに協力しました。

日 時: 令和元年5月11日(土)10:00～11:30

場 所: 大相模調節池ビオトープ周辺

参加者: 約400名



確認された生物

【魚類】

No.	種名	科名	採取数	備考
1	ウナギ	ウナギ科	5匹	
2	ヌマチチブ	ハゼ科	多数(100匹以上)	
3	モツゴ	コイ科	1匹	
4	ブルーギル	サンフィッシュ科	6匹	特定外来生物

【甲殻類】

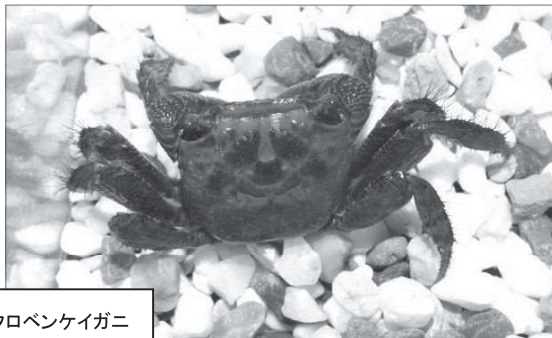
No.	種名	科名	採取数	備考
1	テナガエビ	テナガエビ科	多数(300匹以上)	
2	スジエビ	テナガエビ科	多数(300匹以上)	
3	クロベンケイガニ	イワガニ科	1匹	
4	モクズガニ	モクズガニ科	9匹	※

【その他】

No.	種名	科名	採取数	備考
1	ヒメタニシ	タニシ科	多数(100匹以上)	
2	タイワンシジミ	シジミ科	12匹	
3	ヌマガイ	イシガイ科	1匹	※

※ モクズガニ、ヌマガイは、今回初めて確認された生物です。

過去に確認されたスズキ、マハゼ、ナマズ、カムルチー、ミシシippアカミガメ、クサガメは、今回の調査では確認されませんでした。



クロベンケイガニ



○久伊豆神社の社寺林を見てみよう！(第26回ECO勉強会)

越ヶ谷久伊豆神社は、創建された年代は不詳ですが、平安中期から信仰を集める神社です。

数多くの文化財や、貴重なスダジイなどを残す社叢を有し、文化的・歴史的に価値の高い場所です。

今回は、神社の歴史や文化財・環境保全区域等についての講義のあと、普段は一般開放されていない本殿裏の社叢を見学しました。



日 時:令和元年 11 月 30 日(土)10:00～12:00

場 所:越ヶ谷久伊豆神社

参加者:20 名

1-3 出前授業・環境講演会など

市では地域や小学校等を対象に出前授業や環境講演会を開催しております。令和元年度は、6 回実施し、460 名が参加しました。

令和元年度 環境授業・環境講演会実施内容

実施日	対象者	参加人数	テーマ
6 月 10 日	越ヶ谷小学校 5 年生	139	越谷の自然環境 未来の地球と私たちの暮らし
6 月 22 日	大袋東小学校全児童	160	いきものまんまるカードゲーム
8 月 1 日	イオンせんげん台店チアーズクラブ	11	ストップ温暖化
8 月 3 日	南越谷地区住民	40	越谷市の河川環境について
9 月 21 日	ヒマワリこどもエコクラブ児童	13	綾瀬川の歴史と環境について
10 月 10 日	大間野小学校 4 年生	97	綾瀬川の歴史と環境について

※上記の他、各小学校で実施している生物多様性子ども調査の授業に、市の職員が参加し、環境サポーターと共に学習支援を行っています。

1-4 川をめぐる子ども体験バスツアー

越谷市内を流れる川とつながる地域を訪問し、水と自然環境について体験的に学習することを目的に、市内の小学生を対象に「川をめぐる子ども体験バスツアー」を NPO 法人越谷ふるさとプロジェクトと共催で実施しました。令和元年度は熊谷市のムサシミヨ保護センターや熊谷市久下および佐谷田の元荒川源流部を訪問し、希少生物であるムサシミヨについて学びました。

令和元年度川をめぐる子ども体験バスツアー実施状況

	日時	場所	参加者
事前説明会・ 学習会	8 月 16 日(金) 10:00～12:00	越谷市中央市民会館 5 階 第 2・3 会議室	28 名 (保護者含む)
体験バスツアー	8 月 19 日(月) 8:30～17:00	ムサシミヨ保護センター 熊谷市久下、佐谷田の元荒川源流部	20 名



1-5 児童館ヒマワリの環境学習事業

児童館ヒマワリのテーマ「生物と環境」には、子どもたちが人と自然の調和や動植物を慈しみ生命を尊重する心を持ち、科学する心を培っていくという願いが込められています。また、こどもエコクラブ活動の推進により、地球環境を保護するなど、環境形成者としての実践力を育成することをねらいとしています。令和元年度末現在、5クラブ 773 人が登録を行っています。

ー主な実施事業ー

① 科学にひたるひととき in越谷 2019

科学に興味をもつ子どもが、大人を含めて楽しめるような本格的な科学教室を開催し、科学に対する興味関心をさらに高めることをねらいとしています。

テーマ	開催日
〈吹き矢で学ぶ力学〉ープラトンボも作って飛ばそう	7月20日(土)

② ヒマワリ自然観察会

野外の自然の中に出て、直接自然の中ですごしたり、館内展示の説明を見たりして、自然や環境についての理解を深め、自然の興味関心を高めることをねらいとしています。

回	月	日	曜	活動内容
①	6月	2日	日	埼玉県自然学習センター見学
②	11月	17日	日	茨城県自然博物館見学

③夏休み特別企画展

子どもたちに人気の昆虫をはじめ、夏に躍動する生きものたちを取り上げます。おなじみのカブトムシやクワガタ、越谷で育てられているヘイケボタルなどを直に触れたり見たりしながら、生体の観察をします。また、外来動物や温暖化の影響によって変わる生き物の様子も探りながら、私たちを取り巻く環境の変化についても考えていきます。

題名	開催期間
夏！昆虫ワールド～昆虫の不思議にようこそ～	7月20日(土)～ 7月31日(水)

④わくわく科学教室

学校では経験できない生物の観察やいろいろな科学実験、自然を生かしたものづくり等を行いながら、自然や環境も含めた様々なことを学び、科学への興味・関心を高めることをねらいとしています。

回	月	日	曜	内 容
①	4月	21日	日	植物で染物に挑戦Ⅰ(春)
②		28日	日	ミニトマトでジャムをつくろう※親子5組
③	5月	12日	日	メダカの飼い方教室 ※メダカプレゼント
④		26日	日	紫外線ビーズストラップとお花のハーバリウムづくりⅠ
⑤	6月	9日	日	ミニトマトのピザをつくろう※親子5組
⑥		16日	日	ペットボトルで水族館をつくろう
⑦		23日	日	カブトムシ飼い方教室 ※カブトムシプレゼント
⑧		30日	日	紫外線ビーズストラップとお花のハーバリウムづくりⅡ
⑨	7月	7日	日	ホテル鑑賞会 ※エコクラブ合同 19:00～
⑩		14日	日	昆虫トラップ作戦!
⑪		21日	日	カブトムシ標本づくりに挑戦Ⅰ(2回講座) ※定員10名
⑫		28日	日	いい声で鳴かそう! スズムシ教室
⑬	8月	11日	日	ミニミニビオトープをつくろう
⑭		18日	日	化石のレプリカをつくろう
⑮		25日	日	カブトムシ標本づくりに挑戦Ⅱ(2回講座) ※定員10名
⑯	10月	20日	日	科学の不思議～『シュワシュワ』バスボム作り
⑰	11月	24日	日	粉雪の降るスノードームをつくろう
⑱	12月	1日	日	キラキラリースでクリスマスをむかえよう
⑲		15日	日	すてきなクリスマスキャンドルをつくろう ※親子12組
⑳		22日	日	「紙すき」の体験をしよう～和紙風の年賀状づくり～
㉑	1月	19日	日	恐竜の骨格標本をつくろう
㉒		26日	日	楽しい菌類
㉓	2月	2日	日	アクアリウムで素敵なインテリア
㉔		16日	日	生物標本でアクセサリーをつくろう(封入標本)
㉕	3月	1日	日	ペットボトルでセントポーリアを育てよう(中止)

⑤こどもエコバザール

おもちゃ、文房具、本などのこども版不用品交換市。

自分が不用となったものを持ち寄って交換することにより、子どもに物を大切にすることの大切さや楽しさを実感させることをねらいとしています。 開催日:11月24日(日)

⑥ヒマワリこどもエコクラブ

米作りを通し、健康・水・生物などの関わりから環境について考え、一人ひとりの環境保全に対する意識を高めることをねらいとしています。また、異なる学校のクラブ員相互の交流を図っています。(全10回)

2. 環境保全活動

2-1 越谷市環境推進市民会議

(ア)組織の概要

越谷市環境推進市民会議は、地球環境の復元能力を超えた人間活動により、私達人間を含めた生物の生存が脅かされている状況を認識し、自然豊かな恵のある地球環境を維持・改善して次世代に受け継いでいくため、市民参加により策定された越谷市環境管理計画に基づいて、市民・事業者の各主体が行う環境保全活動の事業を支援していくことを目的として、平成13年に設立された市民団体です。会長以下役員が置かれ、3つの委員会を中心に活動が行われています。令和元年度末現在、団体会員42団体、個人会員25名が参加をしています。

(委員会の名称と活動内容)

総務広報委員会:越谷市環境大会、勉強会などの企画、エコニュースの編集発行

自然環境委員会:こしがや緑のオアシスの調査・推薦、市内の自然環境調査

普及事業委員会:エコ事業所宣言・環境ファミリー宣言・緑のカーテンの普及啓発活動、会員の募集

(イ)越谷市環境大会

越谷市環境大会は、越谷市環境推進市民会議と越谷市が、「市民・事業者の各主体が行う環境保全活動の事業を支援していく」ため、市民団体や、事業所、関係機関などに参加を呼びかけ、毎年開催をしています。令和元年度は、第16回として“越谷の環境～今とこれから～”をテーマに、事例発表を行いました。また、あわせて「こしがや緑のオアシス認定式」を行いました。



日 時:令和2年2月15日(土)13:00～17:00

会 場:越谷市中央市民会館5階 第4～6会議室

参加者:57名

こしがや緑のオアシス認定式

- ・認定者への認定証及び認定プレートの贈呈、事例発表

事例発表等

- ・一般社団法人環境パートナーシップ会議 副代表理事 星野智子「私たちにとってのSDGs」
- ・容器包装の3Rを進める全国ネットワーク 運営委員長 中井八千代
「マイクロプラスチック問題の本質～何が問題となっているのか～」
- ・パネルディスカッション 越谷の環境、今とこれから
一般社団法人環境パートナーシップ会議 副代表理事 星野智子
容器包装の3Rを進める全国ネットワーク 運営委員長 中井八千代
株式会社渋谷農園・渋谷 代表 渋谷喜代治
越谷青年会議所 理事長 近藤昭彦
NPO 法人オリザネット 事務局長 古谷愛子
コーディネーター:越谷市環境推進市民会議 会長 齊藤光明

(ウ)ECO 勉強会

越谷環境管理計画に基づく施策の実現に向け、市民、事業者、環境活動団体、教育機関などとのつながり（連携）を深め、定期的に情報交換・意見交換などを行う機会として、平成25年度より開催しています。令和元年度は5回開催しました。

令和元年度 ECO 勉強会実施状況

月日	回（通算）	勉強会名	参加人数
5月18日	第24回	こしがやの環境を学ぶ～エコスポットマップ発行記念～	14名
6月1日	第25回	さくら並木をカミキリから守る！ ～クピアカツヤカミキリ防除の取組～	10名
11月30日	第26回	久伊豆神社の社寺林を見てみよう！	20名
12月10日	第27回	越谷市環境管理計画について学ぼう！	10名
1月25日	第28回	マイクロプラスチック問題について学ぼう！	20名

2-2 こしがや環境サポーター

市民や団体、教育機関等における環境配慮活動等への協力、支援を進めながら地域における自然環境保全、普及啓発活動を幅広く推進していくため、越谷市では、登録制による「こしがや環境サポーター」制度を平成27年度から開始しました。サポーターとして登録された方は、地域や学校などの求めに応じ、環境イベントへの協力や、学校の環境学習への支援を行っています。

○令和元年度末現在登録数：市民サポーター44名、学生サポーター2名、企業サポーター1社

令和元年度活動内容

活動名称	内容	実施日	参加者
ウマノズクサ保護活動	ウマノズクサ自生地にて除草作業	5月16日	6名
越谷市いきもの調査 2017-2020（第3回冬期）	指標生物20種の発見状況報告	1月1日～3月31日	15名
コシガヤホシクサ栽培への協力	苗の植替、種子採取	6月28日 11月15日	延べ7名
オオオナモミ除去活動	葛西用水でのオオオナモミ除去と清掃、キタミソウの観察	10月5日	9名
キタミソウ観察会 クリーン作戦	葛西用水での清掃とキタミソウの観察	2月22日	3名
環境サポーター交流会※	年度事業報告と次年度事業計画説明	3月27日	48名
越谷生物多様性子ども調査支援	トンボ調査学習支援など	通年	延べ94名

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による実施



生物多様性子ども調査支援



フジバカマ保護活動